

<研究発表>

10:00 ~ 10:45 座長 前田敏宏 (大日本製薬・研究管理)

1. ネズミ盲腸蟻虫の効果的な駆虫方法について  
坂田太二、小川明美、須磨正人  
田辺 R&D サービス・大阪飼育管理)
2. 外部機関からの導入マウスにみられた *Helicobacter hepaticus* 感染例と分離菌株の生物学的特性  
余野清香、根縫弘子、高橋恵子、三日月勝見  
(塩野義製薬・AC センター)
3. 非滅菌飼料給与ラットに認められた抗 Tyzzer 菌抗体陽性例  
原口心雄、杉本達也、山中敏彦、神田政典、東山 昇  
(塩野義製薬・AC センター)

10:45 ~ 11:15 座長 北田一博 (京都大・医・動物実験施設)

4. 大阪産野生マウス由来近交系 MOL-SKID 系統の基礎特性解析  
和田あづみ、奥本正昭1、加藤秀樹2、六車香里3、江袋美知3、都築政起4  
(大阪府大・農、1同・先端研、2浜松医大・動物実験施設、3 (財) 実中研、4広島大・生物生産)
5. Genetic Comparison between Laboratory Rats and Japanese and German Wild Rats  
Birger Voigt1, Kazuhiro Kitada1, Ingrid Klasing2 and Tadao Serikawa1  
(1Inst Lab Anim, Kyoto Univ, 2Dep Lab Anim Sci, Inst Pathophysiol, Univ Greifswald, Germany)

11:15 ~ 12:00 座長 近藤 靖 (田辺製薬・先端医学研)

6. ラット・マウス・ヒト比較遺伝子地図 (第 4 版) の作成とその評価  
中根良文、Birger Voigt、北田一博、芹川忠夫  
(京都大・医・動物実験施設)
7. 新たな神経系ミュータント qc ラットの遺伝的解析  
村口武彦1、北田一博1、桑村 充2、Jean-Louis Gu始et3、芹川忠夫1  
(1京都大・医・動物実験施設、2大阪府大・農・獣医病理、3Institut Pasteur)
8. OLETFラットの糖尿病発症に関わるエピスタシス効果の検出  
山田宜永1、松本耕三2、佐々木義之1  
(1京都大・農・動物遺伝育種、2徳島大・医・動物実験施設)

12:00 ~13:30 昼食

13:30~14:00 座長 黒澤 努 (大阪大・医・動物実験施設)

9. EFPIA/ECVAM の「適切な投与・採血法の手引き」  
海野 隆  
(日本シェーリング・前臨床開発研)
10. トリブチルスズによるラットにおける着床障害  
原園 景、江馬 眞、川島邦夫  
(国立医薬品食品衛生研)
- 14:00 ~14:30 座長 池田卓也 (バイエル薬品・中央研)
11. アトピー性皮膚炎モデル、NC/Nga マウスの血中 IgE 値—その経時的変化および市販 IgE 測定キットの定量性の比較検討—  
河田昭彦、佐藤紀子、村松美由起、村松浩二、内山長久、飯田晶敏  
(日本エスエルシー)
12. 富士ドライケムを用いて測定した血清生化学値の特徴—慢性腎不全自然発症マウスモデルについて—  
木下明美、堀川洋子、竹中やよい、田島 優、黒澤 努  
(大阪大・医・動物実験施設)

14:30 ~15:00 座長 浅野裕三 (田辺製薬・安全研)

13. 家族性てんかんシェルティエ犬の臨床的、神経生理学的および病理学的研究  
森田剛仁、池田繁生、島田章則、日笠喜朗1、竹内 崇2、大濱栄作3、柴原壽行4  
(鳥取大・獣医・病理、1同・内科、2同・生理、3同・医・脳神経病理、4同・動物実験)
14. イヌを用いたパターンリバーサル刺激による視覚誘発電位検査  
尾崎潤一郎、桑村有規、谷本憲昭、久世 博  
(田辺製薬・安全研)

15:00~ 15:45 座長 阿部敏男 (武田ラビックス・系統管理)

15. マウス乳癌の多臓器転移実験モデル  
森本純司1、広石伸互2、前田 環3、森 浩志3  
(1大阪医大・実験動物セ、3同・2病理、2福井県立大・生物資源)
16. ネフローゼ自然発症 ICGN(nep) マウスを用いた糸球体における  $\alpha$ -SMA 消失についての検討  
堀川洋子、澤嶋 効、木下明美、田島 優、黒澤 努  
(大阪大・医・動物実験施設)
17. 加齢による WHHL ウサギ血清コレステロールの低下のメカニズム  
塩見雅志、伊藤 隆、田村敏昌、山田悟士  
(神戸大・医・動物実験施設)

15:45~ 16:00 休憩

<特別講演>

16:00 ~ 17:00 座長 芹川忠夫 (京都大・医・動物実験施設)

- 疾患モデルからヒトへ — 予知・予防医学への貢献  
家森幸男 (京都大・人間・環境学研究科)

18:00 ~20:00 懇親会